



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場会社名 高千穂交易株式会社

上場取引所 東

コード番号 2676 URL <http://www.takachiho-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営システム本部長 (氏名) 広木 邦昭

TEL 03-3355-1111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,721	3.2	424	△25.7	533	△10.8	250	54.9
24年3月期第3四半期	12,325	△8.2	571	△12.1	597	△17.2	161	△60.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 291百万円 (140.3%) 24年3月期第3四半期 121百万円 (△65.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	25.54	—
24年3月期第3四半期	16.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	17,526	13,513	76.3	1,365.98
24年3月期	18,290	13,501	73.1	1,365.71

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 13,373百万円 24年3月期 13,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	17.00	29.00
25年3月期	—	12.00	—		
25年3月期(予想)				12.00	24.00

(注1) 直近に公開されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 24年3月期期末配当の内訳 普通配当12円00銭 60周年記念配当5円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	13.8	820	8.3	840	1.6	420	21.9	42.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.2「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	10,140,300 株	24年3月期	10,140,300 株
25年3月期3Q	349,717 株	24年3月期	349,669 株
25年3月期3Q	9,790,626 株	24年3月期3Q	10,050,563 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する監査手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 2
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
(5) セグメント情報等	P. 7
4. 補足情報	P. 8
販売実績	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、先行きについては弱さが残るものの、輸出環境の改善や経済対策の効果などを背景に、一部に下げ止まりの兆しもみられました。しかしながら、海外経済の下振れが、引き続きわが国の景気を下押しするリスクも懸念されております。

当社グループの経営環境は引き続き競争激化の状況にありますが、新たな成長を見据えて、「独自の付加価値の創出」と「グローバルビジネスの本格展開」を中期事業方針に掲げ、その実現に取り組んでおります。

具体的には、システムセグメントでは、既存市場の強化に加え、前年度子会社化したTakachiho Fire, Security & Services (Thailand) Ltd. 及びマイティカード㈱との事業シナジーを追求し、グローバル展開の加速や販路の更なる拡大を目指しております。一方、デバイスセグメントでは、新商品の立上げや独自の専門性の強化により、高付加価値ビジネスの確立と収益拡大を図っているほか、中国ローカル企業への機構部品の販売など、海外ビジネスを強化しております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高ではデバイスセグメントの電子商品類が振るわなかったものの、連結子会社の販売貢献等により、システムセグメントの各商品類が好調に推移し、前年同期比3.2%増の127億21百万円となりました。

損益につきましては、企業買収に伴う販売費及び一般管理費の増加等により、営業利益は前年同期比25.7%減の4億24百万円、経常利益は前年同期比10.8%減の5億33百万円となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損が1億2百万円減少したことから、前年同期比54.9%増の2億50百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比15.5%増の50億49百万円、営業利益はのれんの償却等により、前年同期比34.2%減の85百万円となりました。

セキュリティ商品類では、データセンターで入退室管理システムの新商品が採用されたほか、GMS（総合スーパーマーケット）や小売店向けに商品監視システムの導入が進んだことに加えて、タイ現地法人における大規模洪水からの復興需要や日系企業との取引拡大などにより、売上高は前年同期比7.1%増の39億7百万円となりました。

メーリング商品類では、新たなインクジェットプリンターの販売強化により大型案件を獲得したことなどから、売上高は前年同期比12.6%増の4億56百万円となりました。

その他商品類では、前年度子会社化したマイティカード㈱によるRFID事業での大口案件獲得などにより、売上高は前年同期比114.7%増の6億85百万円となりました。

(デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比4.4%減の60億60百万円、営業利益は前年同期比20.7%減の2億10百万円となりました。

電子商品類では、ゲーム機市場でシリコンマイクなどが好調に推移しましたが、産業機器市場へのアナログ商品の拡販の遅れなどにより、売上高は前年同期比14.9%減の28億68百万円となりました。

産機商品類では、中国向けに主力のATM（現金自動預け払い機）向け機構部品の販売が堅調に推移したほか、遊技市場向け機構部品の販売が伸長したことなどにより、売上高は前年同期比7.6%増の31億92百万円となりました。

(カスタマ・サービスセグメント)

カスタマ・サービスセグメントは、保守契約の獲得遅れなどにより、売上高は前年同期比微減の16億10百万円となりました。営業利益は前年同期比29.6%減の1億25百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ7億64百万円減少し、175億26百万円となりました。これは、現金及び預金が3億62百万円、商品及び製品が2億7百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が7億29百万円、有価証券が4億97百万円、のれんが1億45百万円減少したことなどによるものです。他方、負債は、前連結会計年度末と比べ7億76百万円減少し、40億12百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が4億22百万円、未払法人税等が1億89百万円、賞与引当金が1億30百万円減少したことなどによるものです。純資産は、前連結会計年度末と比べ11百万円増加し、135億13百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末から3.2ポイント上昇し、76.3%となりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,492	6,855
受取手形及び売掛金	5,346	4,617
有価証券	1,197	699
商品及び製品	2,026	2,233
その他	410	454
貸倒引当金	△14	△11
流動資産合計	15,458	14,848
固定資産		
有形固定資産	499	495
無形固定資産		
のれん	997	852
その他	173	161
無形固定資産合計	1,170	1,013
投資その他の資産		
投資有価証券	493	522
その他	684	665
貸倒引当金	△16	△18
投資その他の資産合計	1,160	1,169
固定資産合計	2,831	2,677
資産合計	18,290	17,526

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,563	2,141
未払法人税等	261	71
賞与引当金	289	159
役員賞与引当金	18	20
その他	761	781
流動負債合計	3,894	3,173
固定負債		
退職給付引当金	741	756
その他	153	82
固定負債合計	894	838
負債合計	4,788	4,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,193	1,193
資本剰余金	1,156	1,156
利益剰余金	11,357	11,323
自己株式	△298	△298
株主資本合計	13,409	13,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	64
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	△81	△67
その他の包括利益累計額合計	△37	△1
新株予約権	16	21
少数株主持分	114	117
純資産合計	13,501	13,513
負債純資産合計	18,290	17,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	12,325	12,721
売上原価	8,891	9,065
売上総利益	3,433	3,655
販売費及び一般管理費	2,862	3,231
営業利益	571	424
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	11	12
為替差益	0	84
その他	8	9
営業外収益合計	29	110
営業外費用		
支払利息	1	0
支払手数料	1	0
その他	0	0
営業外費用合計	2	2
経常利益	597	533
特別損失		
投資有価証券評価損	103	1
特別損失合計	103	1
税金等調整前四半期純利益	494	531
法人税、住民税及び事業税	224	183
法人税等調整額	108	92
法人税等合計	333	275
少数株主損益調整前四半期純利益	161	256
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	6
四半期純利益	161	250

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	161	256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	21
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	△38	12
その他の包括利益合計	△39	35
四半期包括利益	121	291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121	286
少数株主に係る四半期包括利益	△0	5

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	カスタマ・サービス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	4,372	6,336	1,616	12,325	—	12,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,372	6,336	1,616	12,325	—	12,325
セグメント利益	130	265	178	574	△3	571

(注) 1. セグメント利益の調整額△3百万円には、連結調整額3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	カスタマ・サービス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	5,049	6,060	1,610	12,721	—	12,721
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,049	6,060	1,610	12,721	—	12,721
セグメント利益	85	210	125	422	2	424

(注) 1. セグメント利益の調整額2百万円は、連結調整額であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(注) 3. システムセグメントのセグメント利益85百万円には、のれん償却額157百万円が含まれております。

4. 補足情報
販売実績

(単位：百万円)

区 分	前四半期 (平成24年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成25年3月期 第3四半期)
セキュリティ商品類	3,647	3,907
メーリング商品類	405	456
その他商品類	319	685
システム 計	4,372	5,049
電子商品類	3,371	2,868
産機商品類	2,965	3,192
デバイス 計	6,336	6,060
カスタマ・サービス 計	1,616	1,610
計	12,325	12,721